

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

警告

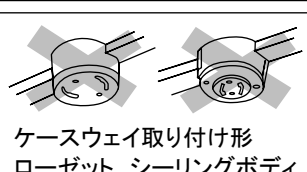
- このような場所には取り付けない。
(この器具は天井面取り付け専用です。)
*器具の落下によるけがの原因となります。



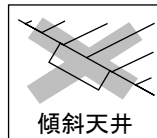
禁止



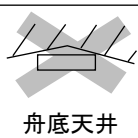
押すと簡単にたわむ
補強のない天井



ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリングボディ



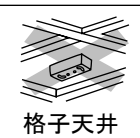
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



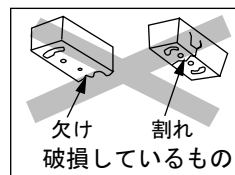
格子天井

- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。

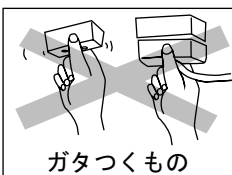
- このような配線部品には取り付けない。
*火災・感電・器具落下によるけがの原因となります。



禁止



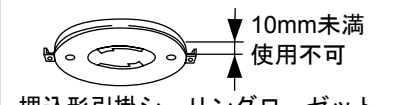
欠け 割れ
破損しているもの



ガタつくもの



角形・丸形引掛シーリングボディ



埋込形引掛シーリングローゼット

配線部品の出しろが少ないもの



電源が露出して
いるもの

電気工事店に
依頼して配線
部品を交換し
てください。

注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所
(35℃以上)では使用しない。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光ランプの交換の際は、必ず電源
を切る。
*電源を切らないと感電の原因となります。

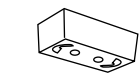
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。)
*火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっている
ので触らない。
*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。
*器具の落下によるけがの原因となります。

このようなことにもご注意を

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。
このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。
このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

器具を取り付ける前に

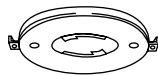
●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

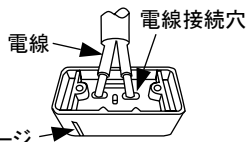
* しようと工事は危険です。
また、法律で禁じられています。

電気工事店(有資格者)のかたへ

●付属の角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

適用電線
φ1.6または
φ2.0 単線



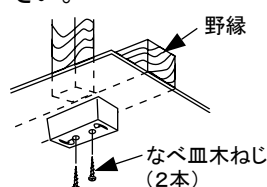
*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

解除のしかた

●○ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線を引っぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



必ず守る

野縁などの補強材のある所に取り付ける。

* 補強材のないところに取り付けると、器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●右図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に...

●蛍光灯などを固定しているテープをはがしてください。

●アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。



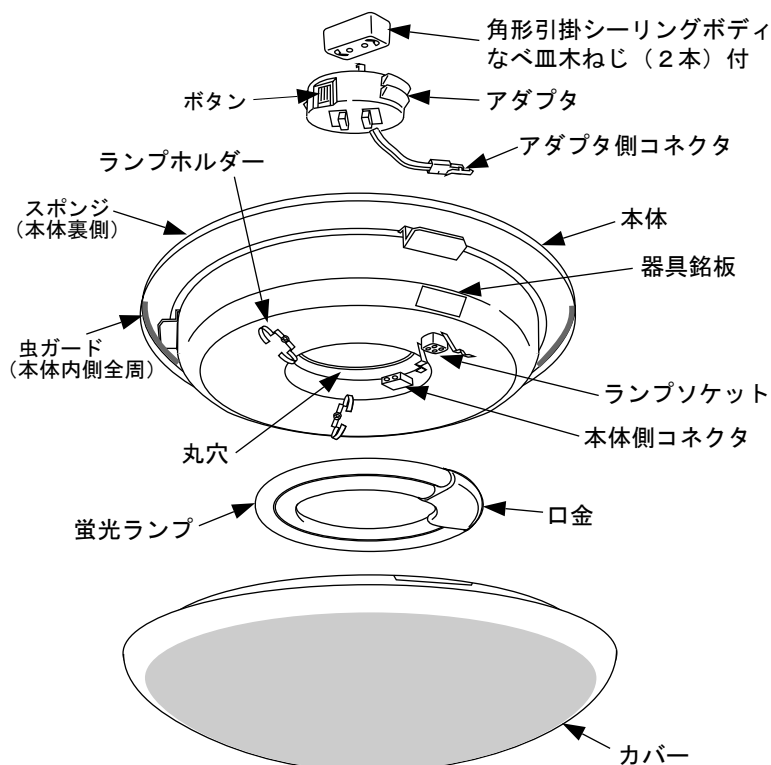
必ず守る

蛍光灯の口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
* 差し込みが不完全な場合、火災や蛍光灯の落下の原因となります。



必ず守る

本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。
* 本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。



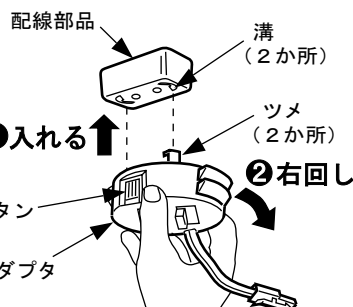
器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け

電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

①配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れ、右方向へいっぱい回してください。(ロックが掛かり固定されます。)

②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



ロックボタン

● レバーロック
○ ロック解除

アダプタのはずしかた

ボタンを押しながら左方向へ回してください。

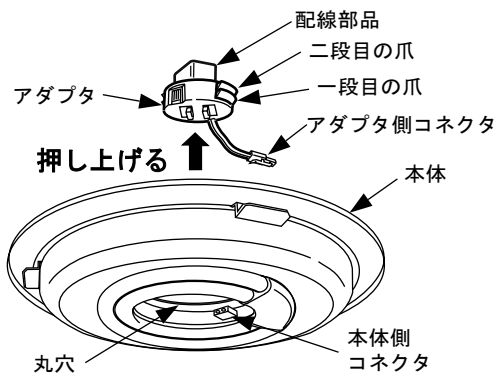


必ず守る

取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。
* 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

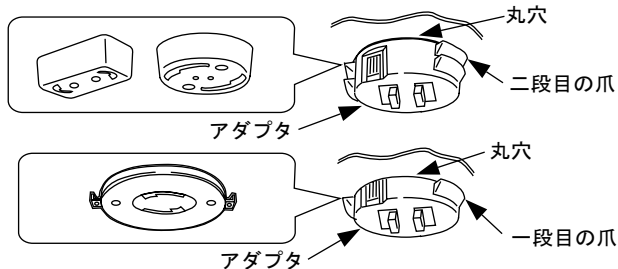
2. 本体の取り付け

- ①アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

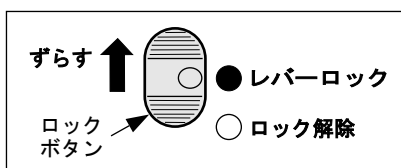


天井に付いている配線部品により本体の丸穴に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下図を参照し適切な爪（両側2ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

必ず守る * 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



- ②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。

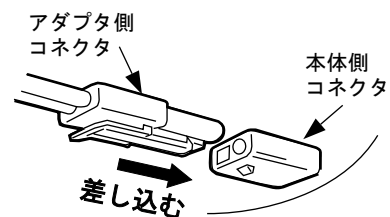


- ③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続してください。



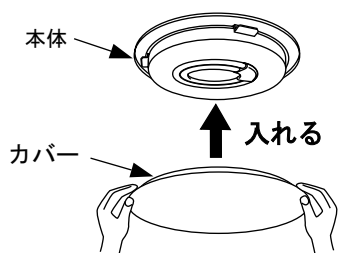
コネクタや電線をむりやり引っぱらない。
* 電線が断線し、感電、故障の原因となります。

禁止

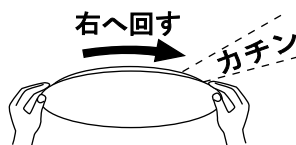


3. カバーの取り付け

- ①本体にカバーを入れてください。



- ②必ずカチンと音がして止まるまで右へ回してください。



ご注意
必ず、カチンと音がして止まるまで回す



カバーを正しく取り付け後は無理な力で回さない。
* 器具の破損、器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、確実に取り付けられているか確認する。

必ず守る

* 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

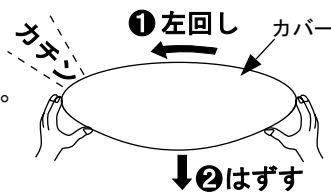
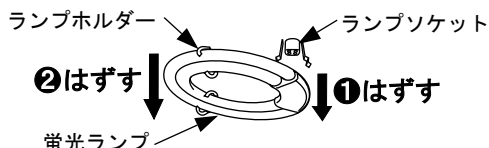
- ①電源を切ってください。（壁スイッチをOFFにしてください。）

- ②カバーを左に回して、取りはずしてください。

- ③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



消灯直後の蛍光ランプは熱いので触らない。
接触禁止 * やけどの原因となります。

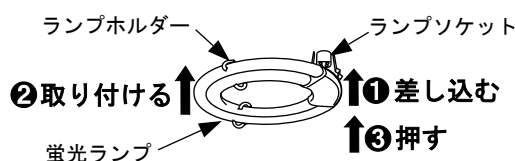


- ④交換用蛍光ランプの口金をランプソケットに合わせて軽く差し込んだのち、ランプホルダーに取り付け、再び、口金を押してランプソケットに取り付けてください。



口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。

必ず守る * 接続が不完全な場合、火災の原因となります。



- ⑤電源を入れて（壁スイッチをONにしてください。）点灯確認をしてください。

* 電源を入れたままでランプ交換をしますと点灯しませんので、電源を切った後、再び電源をいれて点灯確認をしてください。

- ⑥カバーを取り付けてください。（3 ページ、3. カバーの取り付け を参照してください。）

本体のはずしかた

①電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

②コネクタをはずしてください。

（アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。）



コネクタをむりやり引き抜いたり、電線を引っぱったりしない。

禁止

*電線の破損による感電、故障の原因となります。

③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー（２ヶ所）を外側に広げてください。



本体が落下してくるので確実に本体を支えながら作業する。

必ず守る *手を離しますと本体落下によるけが、器具の破損の原因となります。

⑤アダプタをはずしてください。

（ボタンを押しながら左方向に回してください。）

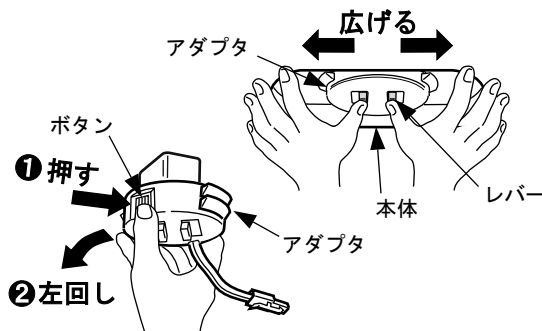
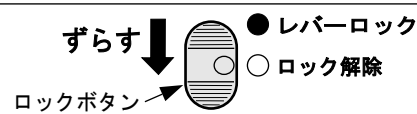
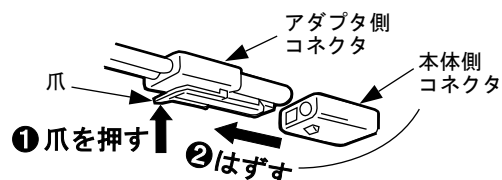


アダプタをむりやり回さない。

禁止

*配線部品の破損の原因となります。

⑥本体の取り付けかたは 2, 3 ページ **器具の取り付けかた** を参照してください。



お手入れのしかた

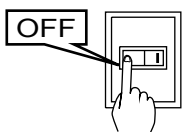
常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れしてください。

■お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

*電源を切らないと感電の原因となります。



必ず守る



■器具のお手入れ



必ず守る

- 器具が汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
- カバー内面は傷つきやすくなっているので取り扱いには十分注意する。

*石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。

*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



禁止



■蛍光ランプの交換時期について

- 蛍光ランプは口金付近が黒ずみまますと寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。



日立パールミック40形をお求めください。

■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

- 点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。



接触禁止



- ランプホルダーをランプに強く当てない。
*ランプが破損し、けがの原因となります。



禁止



仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ
40W形		交流100V	50Hz-60Hz共用	37W	FHD40

アフターサービス

*もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日

 日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256